

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アバンツアーレスポーツ宮城泉		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 48
○従業者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> サッカー支援プログラムによる運動療育 サッカーだけでなく、体を動かすことの楽しさや遊びを通じた活動の提供を行う 外部サッカー場を使用しているサッカー支援プログラムの実施 	サッカーを通じて、成功体験を重ねて自己肯定感を育んだり、活動の中で協力する楽しさを感じるように活動内容の工夫をしている	活動のプログラムを増やし、イベント等の充実を図ることにより、単調な活動にならないように工夫していく
2	<ul style="list-style-type: none"> 週に一回、利用者や保護者のニーズに合わせた支援内容の検討会議や事例検討会を行っている 虐待防止研修等の強化発達心理学を基にした療育研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員研修を行うことによって、共通認識の基で適切な支援が行えるようになる 専門家による虐待防止研修等を行うことにより、従業員の知識の向上及び支援での円滑な対応に繋がる 	利用者や保護者のニーズに応えられるように、従業員研修や事業所内のミーティングを上手く活用し、個々の知識やスキルの向上を図る
3	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズあった支援の計画と実施 利用者や保護者との信頼関係の構築と強化 	面談等で聞き取った情報を従業員間で共有し、送迎時に保護者へ利用者の様子を伝えてコミュニケーションを取ることにより、利用者や保護者のニーズの確認を行っている	開かれた事業所を目指し、従業員自らがオープンな姿勢で情報提供を行い、利用者や保護者が相談しやすいような環境作りを行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の連携(報連相)の徹底 従業員の対応・支援力に差がある 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有を働きかけているが、認識に差がある 支援経験に差があり、中間層の人材が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なジョブローテーションを行い、話し合いや相談の場と機会を設ける 各々が研修等に積極的に参加し、支援への理解を深めていく
2	事業所活動の情報発信をしているが、保護者とのコミュニケーションツールの一つにはなっていない	関係機関(学校)に関しては、会報誌など通じて情報発信しているが、連携までには至っておらず、一方的になっている	積極的なSNSの活用と会報誌を媒体とした地域交流を図る
3			